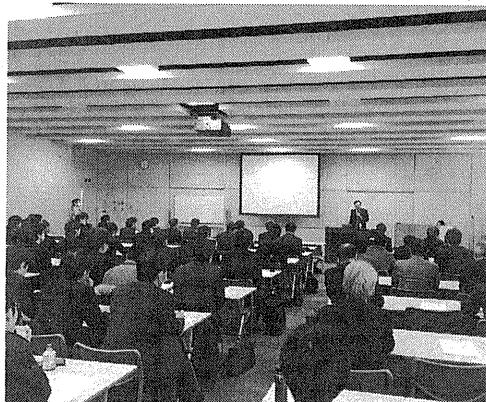


2014年(平成26年)2月20日(木曜日)

ぐんま経済新聞

(9)

アナログ回路技術の動向学ぶ



民間企業の技術者ら100人が参加した

産技センターでフォーラム

電子製品や電子機器の付加価値を高める「アナログ回路技術」の産業振興に力を入れている県と県アナログ関連企業連絡協議会は10日、群馬産業技術センター(前橋市亀里町)で「平成25年度群

術者ら約100人が参加し、最新動向を学ぶとともに、フォーラムに先立ち「アナログ検定」を実施。自分の立ち位置を知ろうと32人の研究者が受験した。

「産官学民連携によるアナログ技術分野の人材育成について」をテーマに講演した群馬大学理工学研究院の山越芳樹教授は午前中に行われたアナログ検定を振り返り、「昨年に比べると平均点が1・5倍くらいになり、なり方、「アナログ技術者には幅広い知識が求められること」とする一方、「アナログ技術者には幅広い知識が求められるが、人材の育成は非常に難しい」と強調。

技術者のレベルが上がっている」とする一方、「アナログナレッジ養成の拠点」の概要などについて報告した。このほか、会場では口頭で文部科学省の支

E(茨城県筑波市の担当者や「航空宇宙分野におけるアナログ技術」をテーマにした講演などが行われ、参加者は熱心に聞き入っていた。

ボットシステムで知られるCYBERDYNE